

インターンシップを終えて

2007年度卒業(会計専門職専攻) 國重辰郎



この度、私はインターンシップに参加させていただく機会を得て、9月上旬から5日間の日程で、あらた監査法人にお伺いしました。

初日と最終日については、東京事務所のインターンシップ生の方々と合流し、行動を共にさせていただきました。東京事務所では、三田・丸の内の両オフィスを見学させていただいた後、Notesのシステム研修、職業倫理および独立性に関する研修などに参加させていただきました。2日目からは大阪事務所に場所を移し、3日間データ入力や資料の作成などをお手伝いさせていただきました。

今回、インターンシップという機会のもと、東京・大阪をはじめとした法人組織の中で実際に仕事に従事されているスタッフの方々の様子を拝見することができ、またお話をする機会が得られたのは、非常に良い経験になったと感じております。

私とそれほど年齢が離れていない方が、既にマネージャーあるいはインチャージとして数年のキャリアを持って監査業務に従事され、活躍されている姿を羨望の眼差しで見っていました。短い期間ではありましたが、インターンシップを通じて、自身が目標とする会計士業界の職場環境を体感できたことは、私にとって改めて会計士資格取得へのモチベーションを高揚させる、非常に良い機会であったと思います。

監査法人へのインターンシップ –体験前と体験後–

2007年度卒業(会計専門職専攻) 橋本美菜子



はじめに、インターンシップという貴重な体験をさせていただきました新日本監査法人様と関西学院大学の教授陣の皆様は厚く御礼申し上げます。

インターンシップの5日間は、普段の「書物」からの勉強を離れ、「生きた勉強」、すなわち「経験」そして「人物」から学ぶ貴重な経験となりました。

インターンシップの内容は、実際に監査法人に入社後、数ヶ月間受ける研修のダイジェスト版、すなわち当該監査法人の監査手法の概観を学べるというものでした。

この経験は、短期的には、監査論の学習に役立つことはもちろんのこと、とりわけ長期的に、「何の為に公認会計士を目指すのか」といった目的意識や「自分が目指すべき将来像」といった今後のキャリア形成を強く考えるきっかけとなりました。特に、監査法人の皆様と接し、「T字型の知識+人間力」がプロの職業人として不可欠なものであることを強く感じました。具体的には、企業会計に関する「専門知識」はもとより、横断的に経営現象を捉え本質を探る「大局的な視点」、さらには人を惹き付けて止まない「人間的な魅力」を併せ持つことが、プロの職業人として不可欠なものであると実感いたしました。

今回のインターンシップの経験は、監査実務の体験のみならず、今後の職業人としてのあり方を改めて見つめ直せる良い機会となりました。この貴重な経験を自身の糧にして、「公認会計士試験合格」を一日でも早く実現し、職業人としてのスタートラインに立てるように、日々研鑽してまいります。ありがとうございました。